



第52回日本小児アレルギー学会報告

2015. 11. 21-22 奈良



スギ花粉症に対する舌下免疫療法：

シダトレンが 2014.10 月から発売された。舌の下にスギの成分を含んだ液体をたらす。これを毎日 1 日1回行う(スギ花粉の時期以外も行う)7-8割の方に効果がある。重大な副作用は知られていない。口唇の腫れ、舌下粘膜の腫脹や浮腫、口内炎がありうる。ダニに対する舌下免疫療法(ミティキュア)も近日中に発売予定。

乾燥肌におけるスキンケア：

軟膏の方が一般的には保湿効果が高いが、べたつき、塗るのに時間がかかることがある。スプレー、ローションの方が短時間で簡単にできるので、朝の忙しい時間帯はスプレー、夜にはじっくり軟膏という方法も良い。

軟膏を塗る量の目安:ティッシュを机の上に置いて、軟膏を塗った腕などを上に乗せる。そして持ち上げた時に、ティッシュがしっかりくっつく様に。



アトピー性皮膚炎における、ステロイドやプロトピックの塗る頻度



Proactive (積極的) 療法：十分に塗り良くなった後も、1日おき、週2日、週1日など時々塗るのを続ける方法。今はこれが主流です。(当院でも基本的にこの方法をお話しています。)

Reactive 療法：十分に塗り、良くなった後は、一度塗るのを中止し、再燃した時に再び塗り始める。軽症の方はこの方法でも十分です。

忙しい時(朝など)のステロイド：ローションタイプもありますので、ご相談ください。軟膏の塗り方:刷子込まないで、たっぷり乗せる。

アレルギーの原因となるダニ：



3つの科しかなく、その中のチリダニ科のコナヒョウヒダニとヤケヒョウヒダニがアレルギーとなる。ダニの量の評価は、室内塵(チリ)1gあたりのDer1(ダニの単位)量が用いられる。日本では約 20 μ g/g dust で、ダニアレルギー汚染地域といえる。高温多湿の地域で高値となる。防ダニカバーは効果がある。布団に掃除機(1回/週位)をかけるのもいい。夏に毛布を保管すると、ダニが増えるので、年3回くらい布団の丸洗いが勧められる。ぬいぐるみも水洗いを。



平井こどもクリニック 院長 平井 克明

